

■ びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

知識・技能	①子どもの心身の成長・発達に対し、一人ひとりの学習や生活を支援しうる教育、保育、福祉について専門的知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②教育、保育、福祉をめぐる様々な問題状況を積極的に予見・発見し、的確な処置のできる視座を有している。 ③教育者・保育者等の専門的職業人としての情熱と倫理観を持ち、豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲・態度	④自己の学習課題を明確にし、課題解決のための継続的な研鑽ができる。 ⑤人間関係を豊かに育てることが出来る“人格的な資質”を持ち、異文化理解を踏まえた国際的な視野に立って、地域社会の一員として適切な行動ができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養科目」「専門科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

- 教養科目は学部共通であり、「①大学入門」「②共通教養科目」「③外国語・体育科目」「④留学生」に区分して授業を開講する。

 - ①大学入門…大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の養成
 - ②共通教養科目…バランスのとれた豊かな教養の獲得
 - ③外国語・体育科目…（外国語）「読む・書く・話す・聞く」の4技能の習得、健康の基礎づくりへの理解促進
 - ④留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）
- 専門科目に「⑤学部共通科目」を設け、必修科目を開講する。

 - ⑤学部共通科目…「教育」と「福祉」の双方の視点、立場を身につけるための基盤となる多様な価値観を学ぶ。
- 専門科目を「⑥学科基幹科目」「⑦教育科目（A. 初等教育科目）（B. 養護教諭科目）」「⑧福祉科目（C. 保育教諭科目）」「⑨発展科目」に区分して授業を開講する。

 - ⑥学科基幹科目… 子ども学を体系的に理解するために必要な授業科目を配置し、全て必修科目とする。子ども理解を深め、課題を探究する基本的態度、表現力、主体性を育み、多様性を受容する姿勢を身につけるため、1年時に「基礎演習Ⅰ」、2年次に「基礎演習Ⅱ」を履修する。子どもを取り巻く諸課題のうち自ら選択した課題を対象に、専門知識や思考方法の習得及び創造的思考力を習得するために、3年時に「総合演習」、4年時には「卒業研究」を履修する。
 - ⑦教育科目 乳児期、幼児期、児童期へと連続した教育、保育、福祉に関する実践的指導力を身に付ける。
 - ⑧福祉科目… 教育者・保育者を目指す学びを積み上げ、確実な指導力を持つ専門職の養成を目指す。
 - ⑨発展科目… 教育実習・養護実習・保育実習等の学外実習科目を配置している。教育現場、福祉現場等において、適切に思考し判断することのできる力量の育成を目指す。

上記教育課程を通じて、教育者・保育者等の専門的職業人がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学習成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。